

ドイツ バイエルン州の村

ドイツ南部、バイエルン州のガルミッシュ・パルテンキルヘン周辺をモデルとして、のどかな美しい村の情景を復元しています。村は聖ヨセフの泉を中心に、色あざやかなフレスコ画の外壁をもつ2棟の民家と、丘の上の礼拝堂からなります。



ガルミッシュ・パルテンキルヘンは、バイエルン州の都ミュンヘンの南方90km、オーストリア国境近くにあるアルプス山麓の村です。小さい町ですが、冬のスポーツ、温泉療養、夏の避暑地として多くの観光客が訪れるリゾート地として有名です。このあたりの家並みの特徴は、街路にそってならぶ商店や民家の外壁に美しい壁絵が描かれていることです。この壁絵は250年の歴史を持ち、「風の絵」と呼ばれ、またその壁絵を描く画家は「風の画家」と呼ばれています。

風の絵とその技法

「風の絵」という名前のいわれは、そよ風のような手早さで描きあげなければならぬフレresco画特有の描き方に由来します。リトルワールドのresco画は、2つの技法で描かれています。ひとつは礼拝堂内部のプリマ・resco、もうひとつは2棟の民家の外壁に見られるゼッコ・rescoです。それぞれ次のような特徴があります。

<プリマ・resco (真正resco)>

壁の石灰モルタルが湿っている間に、顔料を水とともに浸透させる技法です。みずみずしい美しい色調ですが、一日に描く範囲が限られます。

<ゼッコ・resco (乾式resco)>

壁の石灰モルタルが乾燥した状態で、顔料を水ガラスで溶いて浸透させる技法です。風、雨、陽光による褪色に強く、外壁に適していますが、描写時と乾燥後の顔料の発色に差があります。



ゼッコ・resco画

「ガンブリーヌス」

ビールの国ドイツでは、ガンブリー
ヌスはゲルマン人にビール造りを
教えた神様（あるいは王様）。



プリマ・resco画

「聖母の戴冠」

父なる神、その子イエス・キリスト
とハトの姿の聖霊から黄金の冠
を授かり祝福を受けるマリア。